

十六銀、大垣共立銀、岐阜信金

一宮市と地方創生協定

経済分析や活性化策探る

十六銀行、大垣共立銀行、岐阜信用金庫は2日、支店を展開する愛知県一宮市とそれぞれ地方創生に関する包括連携協力協定を締結した。

市が進める地方版総



地方創生に関する協定を締結した(右から)酒向正治専務理事、加藤芳之専務、三浦文彦専務と中野正康市長＝愛知県一宮市役所

合戦略の策定に関連し、地域経済環境の分析や活性化に向けた具体的な提案を行う。3社とも各自治体の地方創生に関する取り組みを支援する専門部署を設置し、各自治体

の戦略策定などに協力しているが、この分野で自治体と包括連携協定を結ぶのは初。創業支援や結婚・出産・子育て支援推進などでも

協力する。市役所であった締結式で、中野正康市長は「地域経済活性化のためいろんな知恵をいただきたい」とあいさつ。

十六銀行の三浦文彦専務は「地域の活力向上は私たちの目指す方向と同じ」、大垣共立銀行の加藤芳之専務は「非常に重要なエリアであり、全面的に支援協定を結んだ。同市はいちいち信用金庫、尾西信用金庫とも

したい」、岐阜信用金庫の酒向正治専務理事も「地域金融機関として一層、地域に貢献したい」とそれぞれ述べ、協定書を交わした。